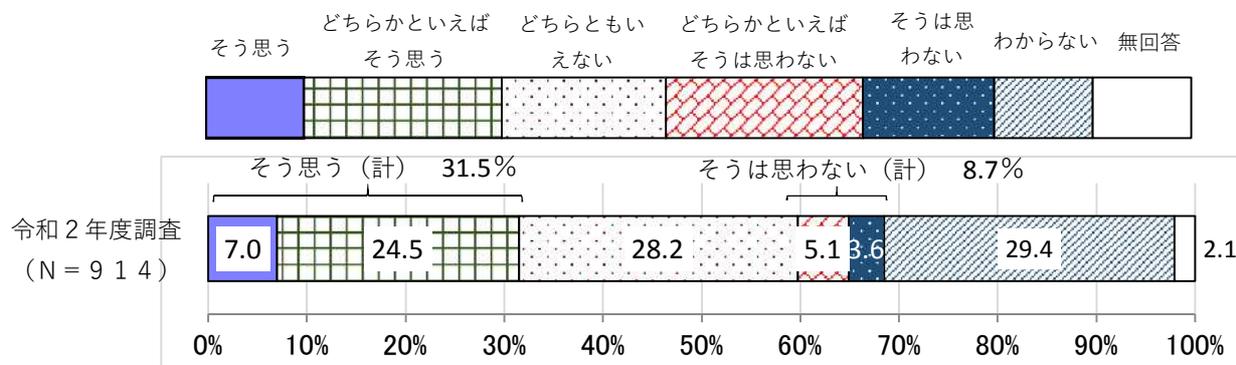


(6) 宇部市における人権尊重意識の定着状況

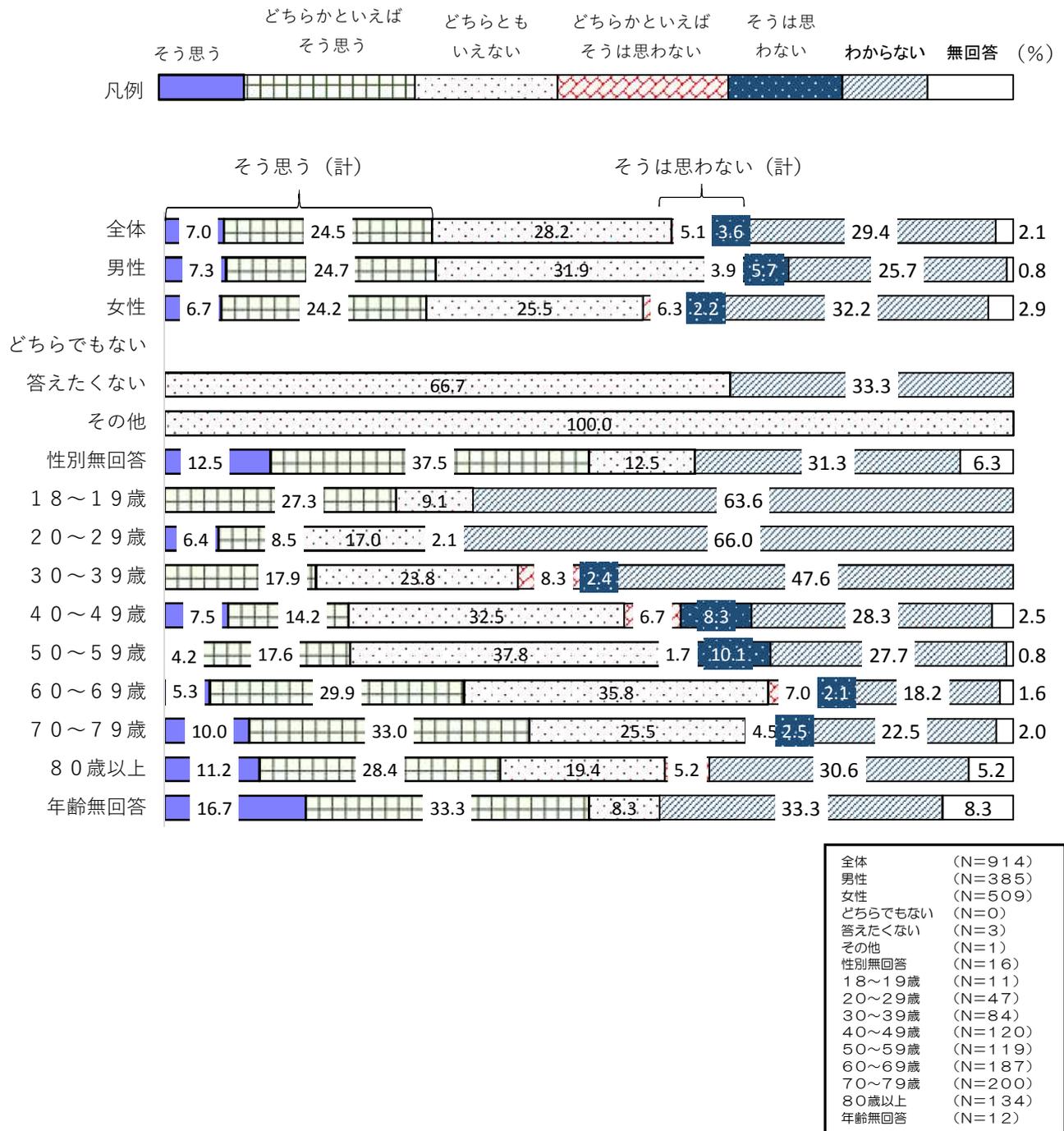
問3 今の宇部市は、10年前と比べて、人権が尊重された都市になっていると思いますか。あなたの気持ちに一番近いものをお答えください。(✓は1つ)

図3-1 宇部市における人権尊重意識の定着状況 (全体)



今の宇部市は、10年前と比べて、人権が尊重された都市になっているか尋ねたところ、「そう思う」と答えた人が7.0%、「どちらかといえばそう思う」と答えた人が24.5%となっており、これらを合わせた「そう思う(計)」は、31.5%である。一方、「そうは思わない」と答えた人が3.6%、「どちらかといえばそうは思わない」と答えた人が5.1%となっており、これらを合わせた「そうは思わない(計)」は8.7%である。なお、「どちらともいえない」は28.2%、「わからない」は29.4%となっている。

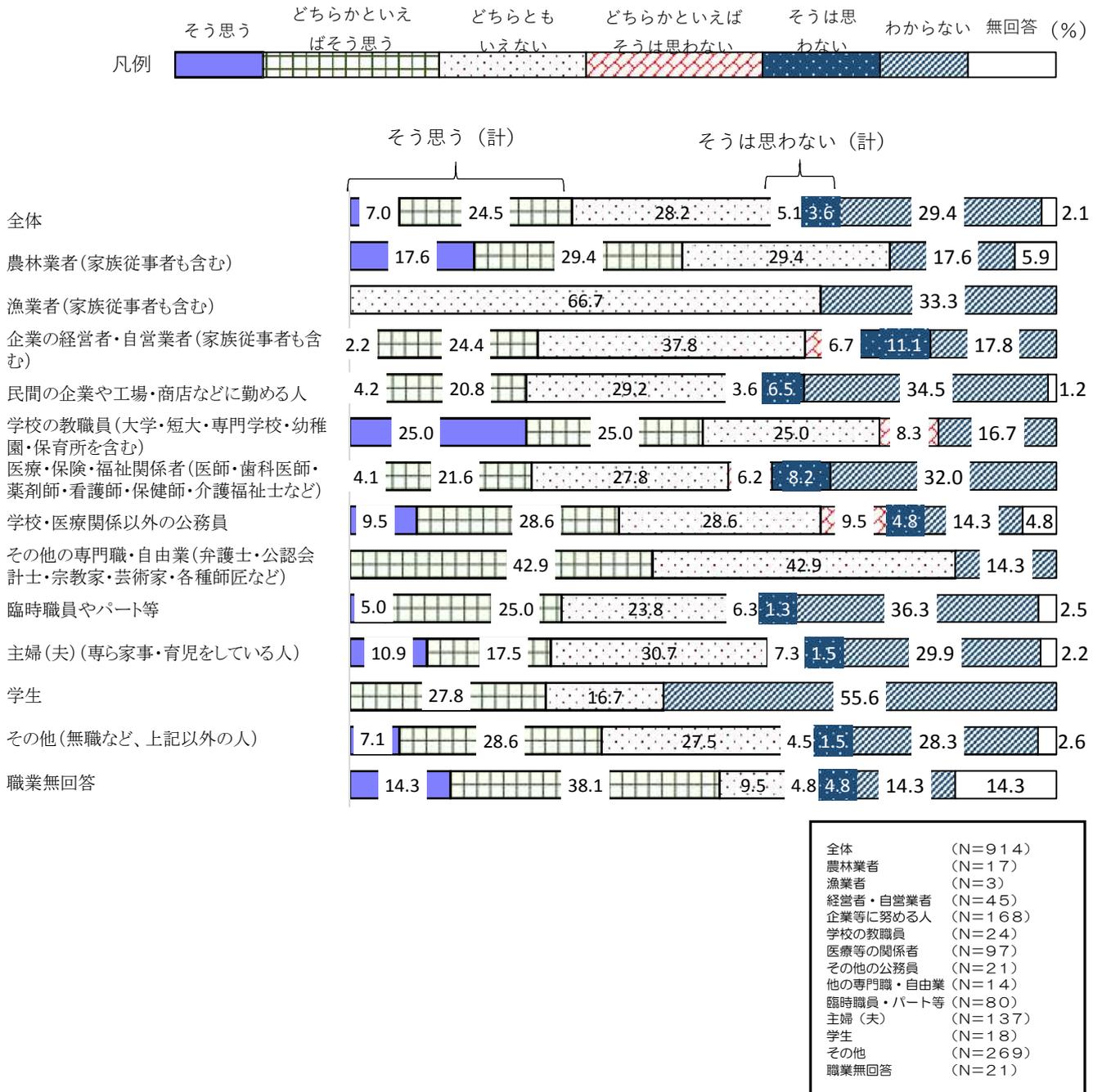
図3-2 宇部市における人権尊重意識の定着状況（性・年齢別）



宇部市における人権尊重意識の定着状況について性別にみると、男性、女性ともに全体結果とほぼ同様の回答傾向となっている。

また、年齢別にみると、20歳以上では、年齢が高くなるにつれ、「そう思う(計)」割合が高くなる傾向がある。

図3-3 宇部市における人権尊重意識の定着状況（職業別）



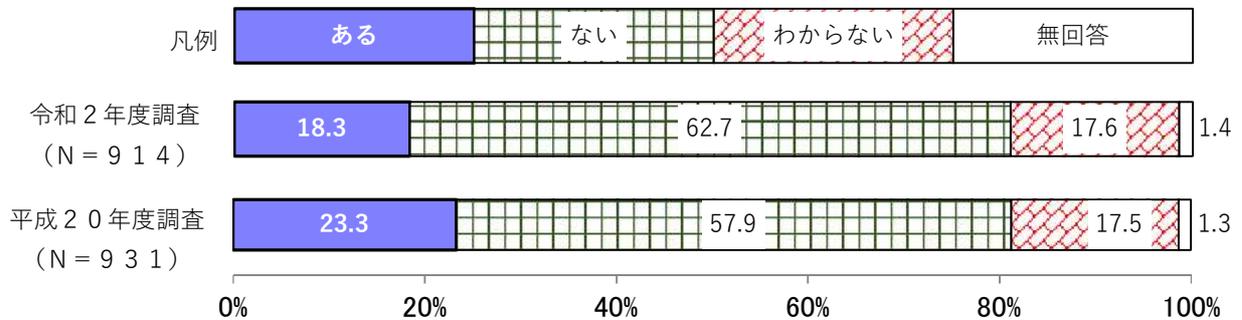
宇部市における人権尊重意識の定着状況について職業別にみると、「そう思う(計)」の回答割合は、学校の教職員は50.0%、農林業者は47.0%と他の職業と比べて高くなっている。

一方、「そうは思わない(計)」の回答割合は、企業の経営者・自営業者は17.8%、「わからない」の回答割合は、学生が55.6%と他の職業と比べて高くなっている。

(7) 人権を侵害された経験

問4 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(✓は1つ)

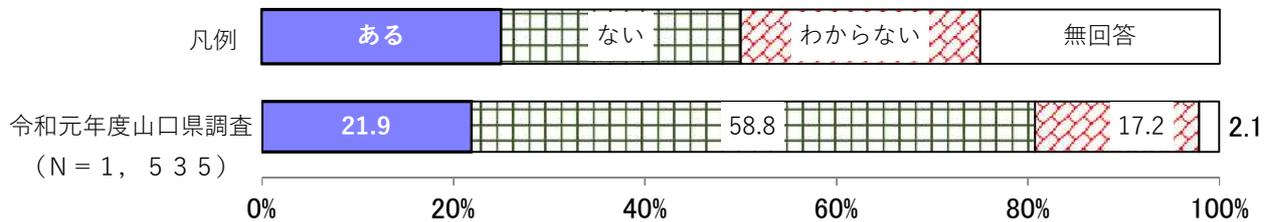
図4-1 人権を侵害された経験 (経年比較)



今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか尋ねたところ、「ある」と答えた人が18.3%、「ない」と答えた人が62.7%となっている。

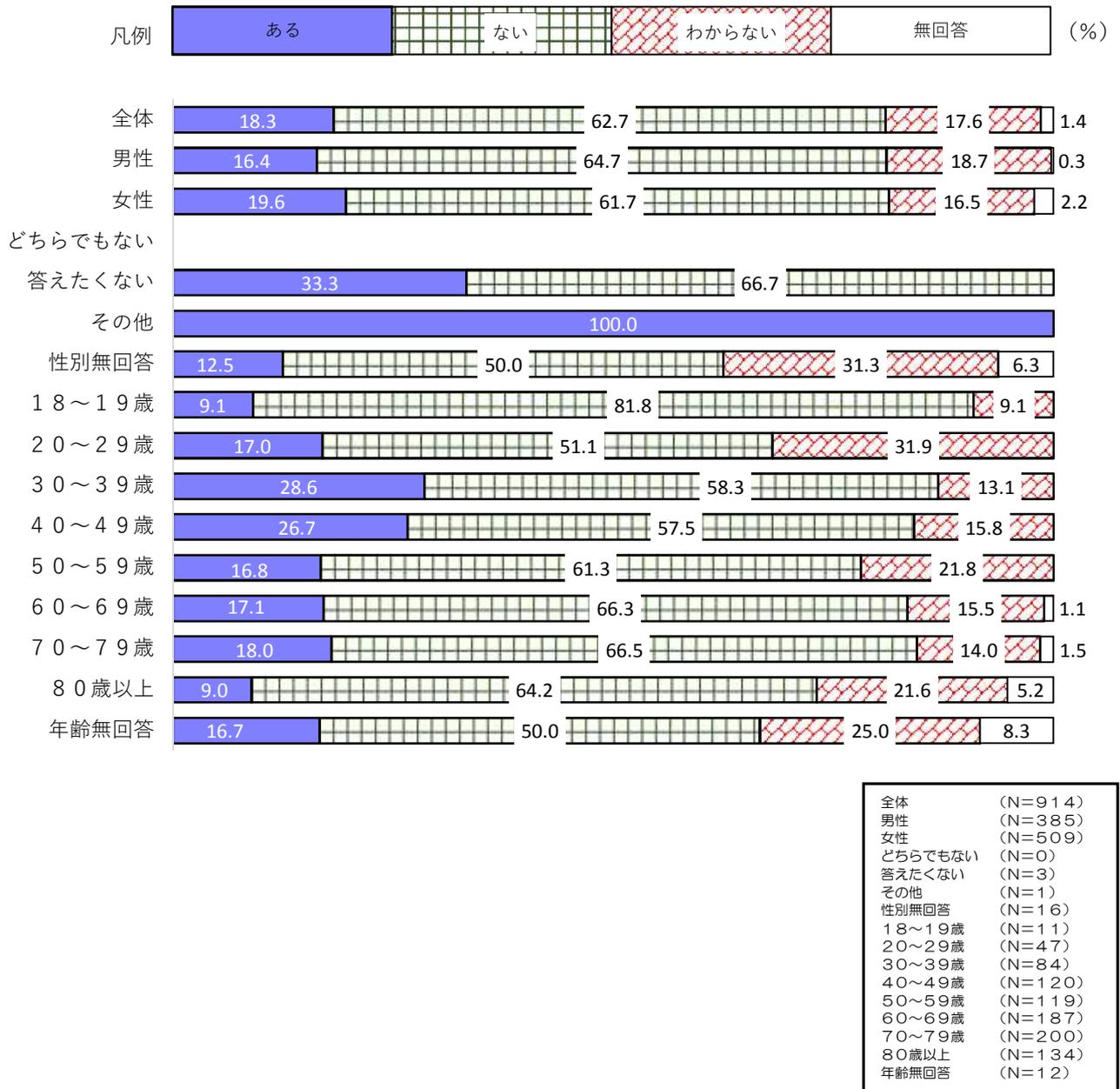
平成20年度調査と比較すると、「ある」と答えた人は4.0ポイント低く、「ない」と答えた人は4.8ポイント高くなっている。

図4-2 人権を侵害された経験(令和元年度山口県調査)



令和元年度に実施された山口県の人権に関する県民意識調査結果と比較すると、「ある」と答えた人の回答割合は本市が3.6%低く、「ない」と答えた人の回答割合は本市が3.9%高くなっている。

図4-3 人権を侵害された経験（性・年齢別）

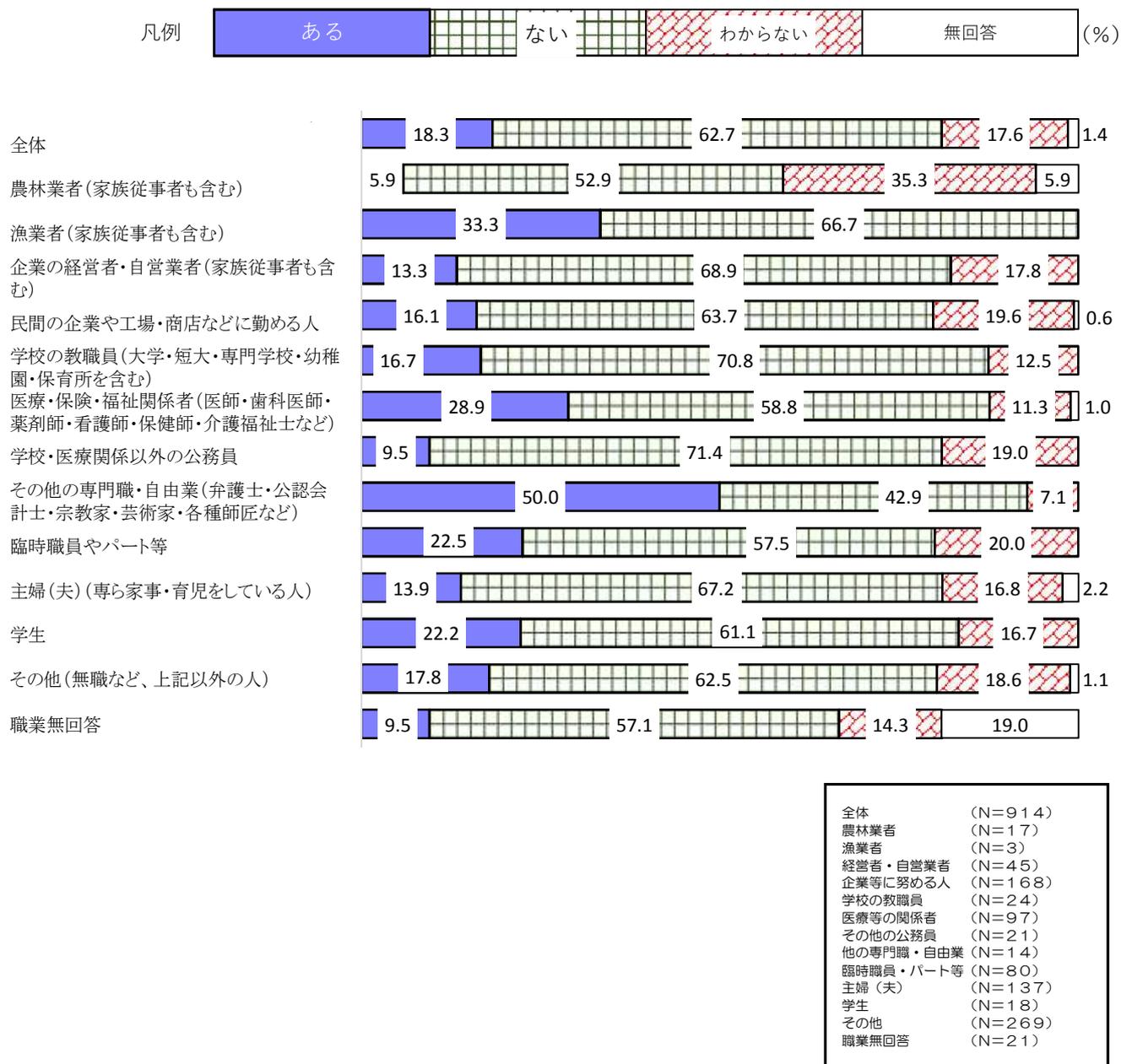


人権を侵害された経験の有無について性別にみると、「ある」の回答割合は、女性(19.6%)が男性(16.4%)より、3.2ポイント高くなっている。

また、年齢別にみると、いずれの年齢とも「ない」の回答割合が高く、中でも18～19歳(81.8%)が他の年齢に比べ高くなっている。

一方、「ある」の回答割合は、30～39歳(28.6%)、40～49歳(26.7%)が他の年齢に比べ高くなっている。

図4-4 人権を侵害された経験（職業別）



人権を侵害された経験の有無について職業別にみると、ほとんどの職業とも「ない」の回答割合が5割を超えており、中でも、学校・医療関係以外の公務員(71.4%)、学校の教職員(70.8%)が他の職業に比べ高くなっている。

一方、「ある」の回答割合は、その他の専門職・自由業(50.0%)、漁業者(33.3%)、医療・保健・福祉関係者(28.9%)が他の職業に比べ高くなっている。